

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	介護保険給付事業		コード	担当課係	介護保険課介護保険係
			02-01-05-04	担当者	玉野直美
事業実施期間	平成12年4月～(実質平成11年10月)		電話	64-1828	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目	やさしさあふれるまちづくり			
	小項目	介護保険			
	施策	地域密着型サービスの創設			

事業について	
目的	介護を必要とする方へ介護保険給付をおこない、本人及び介護者の負担軽減を図る
対象 (誰のために)	要介護認定・要支援認定者及び介護者
内容	給付費の支払い及び給付の適正化を図る

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
要介護認定者数(年度末)	1,796 人		
介護保険受給者数(年度末)	1,412 人		
施設・居住系利用者数(年度末)	529 人		
受給率(年度末)	78.6 %		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	2,497,748	国庫補助金等	1,822,422	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	7,482	受益者負担	461,468	人件費		受益者負担	
	市債		市債		市債		市債	
合計	2,505,230	一般財源等	221,340	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	1.44	人		人
結果指標名	介護保険受給者数			
結果指標量	1,412			
単位	人			
対前年比	0.00%			
事業費	213,260,399	円		円
単位当たりコスト①	151,034	円		円
結果指標名	施設・居住系利用者数			
結果指標量	529			
単位	人			
対前年比	0.00%			
事業費	121,637,650	円		円
単位当たりコスト②	229,939	円		円

事業の成果			
成果指標名	介護保険受給者数	式又は説明	年度末の受給者数
成果指標量	17年度		
対前年比	1,412		
到達目標値	—	0.00%	
	1,853	到達目標年度	平成20年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：介護保険法	課題認識
コストの効率化	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	要介護認定者等が必要とするサービスの利用について制度の周知を図るとともに、適正化システムの活用による不適正なサービス利用の把握をおこなう。
手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
職場の効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	要介護認定者の内、サービス利用のない方については適切な要介護認定の勧奨をおこなう。
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	要支援・要介護認定者アンケートで介護保険制度全般に対する評価について「満足できる」とした割合は67.3%であった(満足できないは14.9%)。今後さらにサービス利用者は増え続けることが予想されるので、利用者の期待に応えられる体制、対応が求められる。
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	
市民参画度		

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 介護保険サービス利用者は今後も増え続けることが予想される中、アンケートでは家族の負担を軽減するための施策の充実と入所施設の拡充、低所得者の負担軽減等が求められる結果となっています。制度に対する満足度を高めていくため、本年策定しました第三期事業計画を着実に実施していくことが必要となります。	評価区分 <A~E> C
------	--	---------------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	1,633	結果指標量②	564
目標値	結果指標量	1,633	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。